

@@

立命館大学スポーツ健康科学研究センターBeActive研究会
「BeActiveニュース」第4号 2016年6月13日（月）

@@

執筆者：海老 久美子（スポーツ健康科学部 教授）

BeActive研究会の「BeActiveニュース」

1. 「未来のトップアスリートのための体感型スポーツ栄養セミナー」 のお知らせ

国内の競技はもちろん、国際的な大会が話題のスポーツ界、管理栄養士・栄養士のフィールドとしても注目を集めています。

スポーツ健康科学部 海老 久美子研究室には多くの管理栄養士が所属し、「公認スポーツ栄養士」の資格を目指し、取得しています。

公認スポーツ栄養士は、日本代表といったトップアスリートからジュニア層、健康増進を目的としたスポーツ愛好家まで、競技者、監督、コーチ、トレーナー、競技団体などのスポーツの現場から、競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高めるための栄養教育や食環境の整備などにいたるまで、栄養サポートに対するニーズに的確に応えることができるスポーツ栄養の専門家であり、公益社団法人 日本栄養士会および公益財団法人 日本体育協会の共同認定による資格です。（詳しくは → <http://www.jsna.org/about/>）

今年度、この公認スポーツ栄養士がプロデュースする「未来のトップアスリートのための体感型スポーツ栄養セミナー」を全国12カ所で開催することになり、申し込みの受付が開始されています。

このセミナーでは、海老を含む、スポーツ栄養の第一人者を講師に迎え、ジュニアアスリートのための栄養学を、より実践的に、より効果的に、見て、聞いて、食して、1日じっくり学ぶことができます。

（詳しくは → <http://www.dietitian.or.jp/news/information/2016/29.html>）

関西では 8月27日土曜日（大津市／琵琶湖ホテル）、翌年1月29日日曜日（大阪府／場所未定）で開催します。

スポーツの現場に携わっている方、公認スポーツ栄養士を目指している方はもちろん、スポーツ栄養に関心のある企業の皆様や、指導者や保護者の方にもご満足いただける内容となっています。ぜひご参加ください。

2. 日本健康教育学会発表報告

スポーツ健康科学部 海老 久美子研究室では、6月11・12日沖縄科学技術大学院大学（OIST）にて開催されました、第25回日本健康教育学会学術集会において、4題の発表を行いました。

「学校給食導入前後における生徒の食意識とエネルギー・栄養摂取量の変化」（発表者／海崎 彩）

「大学生アスリートにおける変容ステージ別の個人栄養教育の有効性の検討」（発表者／佐藤 愛）

「運動部に所属する女子高校生の食意識・食知識と食事摂取量の関係」（発表者／村上 裕佳子）

「高校野球選手に対する「健康的な増量」を目的として栄養サポート」（発表者／首藤 由佳）

2016. 6. 13 Vol. 4. txt

@@

スポーツ健康科学研究センター
BeActive研究会
公式ホームページ

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/spoken/index.html>

研究会イベント、シンポジウム情報、及びメルマガバックナンバーなど掲載！